



第2回 病態分子薬理学セミナー

tokushima
BUNRI
120th
Anniversary



アモーレパシフィック研究開発センター
Amore Pacific R&D Center
(韓国)



賓範浩 博士
Dr. Bum-Ho Bin

日時：平成27年12月3日（木）
17:00～18:00

場所：24号館10階 病態分子薬理学研究室 教授室

—演題—

美白剤開発：メラニン生合成における糖の影響と
その分子メカニズム

Sugar-based Approaches for Developing
Anti-Melanogenic Agents

Bin博士は糖を用いた美白剤の開発に取り組んでいる研究者です。メラニンの生合成における糖の影響を分子メカニズムで研究しており、その過程でメラニン生成を制御する糖代謝関連酵素の活性を干渉する糖を発見しました。この発見に基づいて新たな美白剤の開発法を研究しており、それらの内容も含めてご研究を紹介させていただきます。

皆様のご来聴をお待ちしております。なお、講演は日本語で行われます。

世話人：病態分子薬理学研究室 深田俊幸
連絡先：fukada@ph.bunri-u.ac.jp